



## 2018年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年6月28日

上場会社名 象印マホービン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7965 URL <http://www.zojirushi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 市川 典男  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡本 茂久 (TEL) 06-6356-2368  
 四半期報告書提出予定日 2018年7月2日 配当支払開始予定日 2018年8月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2018年11月期第2四半期の連結業績(2017年11月21日～2018年5月20日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年11月期第2四半期	47,854	△1.1	5,259	△14.9	5,519	△15.0	3,745	△13.3
2017年11月期第2四半期	48,390	△6.8	6,177	△27.5	6,490	△18.3	4,321	△14.9

(注) 包括利益 2018年11月期第2四半期 3,387百万円(△45.3%) 2017年11月期第2四半期 6,193百万円(△67.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年11月期第2四半期	55.42	-
2017年11月期第2四半期	63.96	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年11月期第2四半期	91,767	70,038	75.6
2017年11月期	92,928	67,672	71.9

(参考) 自己資本 2018年11月期第2四半期 69,397百万円 2017年11月期 66,832百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年11月期	-	11.00	-	11.00	22.00
2018年11月期	-	15.00	-	-	-
2018年11月期(予想)	-	-	-	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年11月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当11円 記念配当4円  
 2018年11月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当11円 記念配当4円  
 詳細は、2017年12月25日発表の「創業100周年記念配当に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2018年11月期の連結業績予想(2017年11月21日～2018年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,400	1.2	7,200	△8.0	7,600	△10.5	5,200	△2.6	76.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年11月期2Q	72,600,000株	2017年11月期	72,600,000株
② 期末自己株式数	2018年11月期2Q	5,014,281株	2017年11月期	5,031,564株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年11月期2Q	67,573,370株	2017年11月期2Q	67,568,956株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向となり、設備投資にも増加の動きが見られるなど緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、中国を始めとするアジア新興国等の経済の先行きや東アジア地域の情勢不安などによる世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社グループは、スムーズに飲むことができる当社独自の飲み口を採用したステンレスクールボトルやステンレス真空2重まほうびん構造で高い保冷・保温力を発揮するステンレストンブラーなどの新製品を発売するとともに既存商品の販売にも注力いたしました。

製品区分別の概況は次のとおりであります。

調理家電製品につきましては、国内においては、昨年のモデルチェンジにより機能強化したマイコン炊飯ジャーの売上が増加したものの、その他の炊飯ジャーは市場の停滞や販売先の在庫調整の動きなども影響し、全般的に前年実績を下回ったことにより、炊飯ジャー全体としては売上が減少いたしました。電気ポットは省エネタイプのVE電気まほうびんがほぼ前年並みの売上を確保したものの、その他の電気ポットは市場の縮小傾向もあり、前年実績を下回りました。電気調理器具では圧力IHなべの売上が増加したものの、オーブントースターが前年実績を下回ったことなどにより、電気調理器具全体としては売上が減少いたしました。海外においては、炊飯ジャーは中国市場ではIH炊飯ジャーの売上が伸長したものの、マイコン炊飯ジャーが前年実績を下回ったことにより、炊飯ジャー全体としては売上が減少いたしました。電気ポットは東南アジア市場で前年実績を下回ったものの、中国や台湾で好調に推移したことにより、売上が増加いたしました。しかしながら、調理家電製品の売上高は301億35百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

リビング製品につきましては、国内においては、ステンレスマグが市場の拡大傾向や商品ラインアップを強化したことなどによりワンタッチオープンタイプを中心に好調に推移し、飲み方を2通りから選べる2WAYボトルも売上が増加しました。ステンレスフードジャーも昨年9月に新規投入した保温調理ができるタイプの新製品の売上への寄与もあり、前年実績を上回るなど、ステンレスマホービン全体としては好調に推移いたしました。海外においては、台湾市場ではステンレスマグなどの売上が減少したものの、中国市場ではステンレスマグやステンレスポットが好調に推移し、ステンレスマホービン全体としては売上が増加いたしました。その結果、リビング製品の売上高は149億29百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

生活家電製品につきましては、国内においては、加湿器は昨年秋に新規投入した新製品が好調に推移し、ふとん乾燥機もほぼ前年並みの売上を確保いたしました。また、台湾市場で新規投入したふとん乾燥機や衣類乾燥除湿機の売上への寄与もあり、生活家電製品の売上高は17億28百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

また、その他製品の売上高は10億61百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、海外においては中国での売上が増加したことに加え、海外の主力市場であるアジア地域の通貨が前年同期に比べ円安で推移したことによる海外売上高の円換算額増加があったものの、国内において炊飯ジャーの売上が減少したことが大きく影響し、478億54百万円（前年同期比1.1%減）となりました。利益につきましては、売上高の減少に加え、国内において炊飯ジャーの利益率が低下したことにより、営業利益は52億59百万円（前年同期比14.9%減）となりました。経常利益につきましては、55億19百万円（前年同期比15.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億45百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

## ・製品区分別売上実績

製品区分	販売高(百万円)	前年同期比(%)
調理家電製品	30,135	△5.4
リビング製品	14,929	5.9
生活家電製品	1,728	7.7
その他製品	1,061	27.4
合計	47,854	△1.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (参考情報)

## ・所在地別業績

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
売上高					
外部顧客への売上高	30,209	13,941	3,704	—	47,854
所在地間の内部売上高 又は振替高	5,872	2,404	0	(8,277)	—
計	36,081	16,345	3,704	(8,277)	47,854
営業利益	2,202	1,360	419	1,276	5,259

## ・地域別売上高

	日本	海外				合計	
		アジア		北米	その他		
		内、中国	計				
地域別売上高 (百万円)	29,668	14,339	7,614	3,578	267	18,185	47,854
全体に占める割合 (%)	62.0	30.0	15.9	7.5	0.6	38.0	100.0

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が11億60百万円減少し、負債が35億26百万円減少しました。また、純資産は23億65百万円増加いたしました。その結果、自己資本比率は3.7ポイント増加し75.6%となりました。

総資産の減少11億60百万円は、流動資産の減少16億4百万円及び固定資産の増加4億44百万円によるものであります。

流動資産の減少16億4百万円の主なものは、現金及び預金の増加44億98百万円、受取手形及び売掛金の増加4億9百万円、商品及び製品の減少51億34百万円、原材料及び貯蔵品の減少1億67百万円、繰延税金資産の減少5億37百万円、その他流動資産の減少6億21百万円であります。また、固定資産の増加4億44百万円の主なものは、工具、器具及び備品の増加2億16百万円、建設仮勘定の増加1億2百万円、ソフトウェアの減少1億34百万円、投資有価証券の増加1億27百万円、繰延税金資産の増加2億15百万円であります。

負債の減少35億26百万円は、流動負債の減少35億70百万円及び固定負債の増加43百万円によるものであります。

流動負債の減少35億70百万円の主なものは、支払手形及び買掛金の減少16億44百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少15億円、未払費用の減少2億87百万円、未払法人税等の減少2億23百万円、その他流動負債の増加1億9百万円であります。また、固定負債の増加43百万円の主なものは、繰延税金負債の減少7百万円、退職給付に係る負債の増加50百万円であります。

純資産の増加23億65百万円の主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上37億45百万円、剰余金の配当の支払7億43百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億24百万円、為替換算調整勘定の減少2億87百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間におきましては、海外では中国市場において引き続き好調に推移したことやアジアを中心に為替の影響による円換算額増加があったことなどにより、海外売上高は過去最高となりました。しかしながら、国内では主力の炊飯ジャーを中心に、市場の停滞に加えて販売先の在庫調整の影響を受けるなど厳しい環境が続いていることもあり、売上が当初見込みを下回りました。

利益面におきましても、売上高が当初見込みを下回ったことに加え、主に国内市場における販売価格の下落の影響により炊飯ジャーの利益率が低下したことなどもあり、売上総利益率が低下し、当初見込みを下回る結果となりました。

第3四半期以降、国内市場においては炊飯ジャーを中心に積極的な新製品の投入を予定しており、これらの販売拡大に努めることで売上高の増加と利益率の改善を図るものの、国内外での厳しい市場環境も予想されることから、2017年12月25日に公表いたしました通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正を行うものであります。

なお、今回の業績予想で前提としております為替レートは前回と同様、1ドル=110円です。

## &lt;通期連結業績予想&gt;

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回予想 (A)	88,300	8,600	8,800	5,900	87.32
今回予想 (B)	86,400	7,200	7,600	5,200	76.95
増減額 (B-A)	△1,900	△1,400	△1,200	△700	—
増減率 (%)	△2.2	△16.3	△13.6	△11.9	—
(ご参考) 前期実績 (2017年11月期)	85,363	7,823	8,493	5,338	79.00

※ なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年11月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,318	32,817
受取手形及び売掛金	12,279	12,689
電子記録債権	1,328	1,379
有価証券	100	100
商品及び製品	18,889	13,755
仕掛品	277	178
原材料及び貯蔵品	2,634	2,467
繰延税金資産	1,661	1,124
その他	3,297	2,676
貸倒引当金	△6	△10
流動資産合計	68,782	67,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,728	13,776
減価償却累計額	△10,789	△10,897
建物及び構築物(純額)	2,938	2,879
機械装置及び運搬具	3,457	3,494
減価償却累計額	△2,963	△3,008
機械装置及び運搬具(純額)	494	486
工具、器具及び備品	7,089	7,623
減価償却累計額	△5,468	△5,786
工具、器具及び備品(純額)	1,620	1,836
土地	7,432	7,429
リース資産	1	1
減価償却累計額	△1	△1
リース資産(純額)	0	0
建設仮勘定	9	112
有形固定資産合計	12,495	12,744
無形固定資産		
のれん	3	-
ソフトウェア	2,089	1,955
その他	178	118
無形固定資産合計	2,270	2,073
投資その他の資産		
投資有価証券	7,876	8,003
繰延税金資産	65	280
退職給付に係る資産	984	1,022
その他	462	475
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	9,379	9,771
固定資産合計	24,145	24,589
資産合計	92,928	91,767

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年11月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年5月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,505	6,860
1年内返済予定の長期借入金	1,500	-
未払費用	5,824	5,536
未払法人税等	1,209	985
賞与引当金	1,100	1,083
製品保証引当金	211	205
その他	793	902
流動負債合計	19,145	15,575
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
繰延税金負債	1,611	1,604
退職給付に係る負債	2,653	2,703
その他	345	346
固定負債合計	6,110	6,154
負債合計	25,256	21,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,022	4,022
資本剰余金	4,163	4,183
利益剰余金	56,421	59,423
自己株式	△972	△969
株主資本合計	63,634	66,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,564	2,440
為替換算調整勘定	839	551
退職給付に係る調整累計額	△206	△252
その他の包括利益累計額合計	3,197	2,738
非支配株主持分	839	640
純資産合計	67,672	70,038
負債純資産合計	92,928	91,767



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年11月21日 至2017年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年11月21日 至2018年5月20日)
売上高	48,390	47,854
売上原価	31,362	31,597
売上総利益	17,027	16,257
販売費及び一般管理費	10,850	10,998
営業利益	6,177	5,259
営業外収益		
受取利息	30	38
受取配当金	25	31
仕入割引	16	17
持分法による投資利益	221	200
受取ロイヤリティー	36	43
受取賃貸料	66	54
為替差益	145	75
その他	44	47
営業外収益合計	588	508
営業外費用		
支払利息	10	5
売上割引	238	215
その他	26	26
営業外費用合計	274	248
経常利益	6,490	5,519
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	14	2
特別損失合計	14	2
税金等調整前四半期純利益	6,476	5,516
法人税、住民税及び事業税	1,950	1,236
法人税等調整額	132	388
法人税等合計	2,083	1,624
四半期純利益	4,392	3,892
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	146
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,321	3,745

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年11月21日 至 2017年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月21日 至 2018年5月20日)
四半期純利益	4,392	3,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	269	△124
為替換算調整勘定	1,261	△341
退職給付に係る調整額	58	△46
持分法適用会社に対する持分相当額	211	7
その他の包括利益合計	1,800	△505
四半期包括利益	6,193	3,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,077	3,285
非支配株主に係る四半期包括利益	115	101

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年11月21日 至 2017年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月21日 至 2018年5月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,476	5,516
減価償却費	958	974
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23	△15
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△219	△165
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	50	73
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△13	△5
受取利息及び受取配当金	△56	△69
支払利息	10	5
持分法による投資損益 (△は益)	△221	△200
固定資産売却損益 (△は益)	-	△0
固定資産除却損	14	2
売上債権の増減額 (△は増加)	1,842	△575
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,068	5,344
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,801	△1,521
未払費用の増減額 (△は減少)	△356	△250
その他	68	662
小計	10,799	9,779
利息及び配当金の受取額	508	280
利息の支払額	△19	△7
法人税等の支払額	△1,836	△1,401
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,451	8,651
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△223	△322
定期預金の払戻による収入	569	100
有形固定資産の取得による支出	△582	△779
有形固定資産の売却による収入	-	0
無形固定資産の取得による支出	△133	△179
投資有価証券の取得による支出	△12	△412
その他	316	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65	△1,609
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△189	-
長期借入れによる収入	1,500	-
長期借入金の返済による支出	△1,500	△1,500
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△809	△743
非支配株主への配当金の支払額	△181	△300
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,180	△2,544
現金及び現金同等物に係る換算差額	715	△183
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,920	4,314
現金及び現金同等物の期首残高	22,691	27,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,612	31,606

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。